



2026年5月14日

各位

会社名 エスクリプトエナジー株式会社
(コード番号:5721 東証スタンダード)
代表者名 代表取締役社長 久永 賢剛
問合せ先 経営企画室 IR部
(<https://s-science.jp/contact/>)

営業外費用の計上および通期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2026年3月期において、営業外費用を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、本日「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表いたしました個別業績と通期業績予想値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 営業外費用の計上

当社は、2026年3月期(2025年4月1日～2026年3月31日)において、以下のとおり営業外費用を計上いたしました。

当社が保有する暗号資産につきましては、市場環境の変動により評価額が大きく下落したことから、暗号資産評価損として1,863百万円を計上いたしました。また、当社第1回から第3回普通社債発行に係る社債利息として31百万円を計上し、その社債償還損として199百万円を計上いたしました。さらに当社第8回および第9回新株予約権に係る発行費用として280百万円を計上したことなどにより、当事業年度に計上した営業外費用は、合計で2,379百万円となりました。

II. 今期実績値と前回予想値との差異(2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2026.1.20公表)	百万円 998	百万円 △370	百万円 △1,709	百万円 △1,448	円 銭 △9.48
今回実績(B)	1,441	△146	△2,524	△2,529	△16.02

増減額 (B-A)	443	224	△815	△1,081	—
増減率 (%)	44.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	634	△292	△295	△96	△0.68

III. 今期実績値と前回予想値との差異の理由 (2025年4月1日～2026年3月31日)

売上高につきましては、当社が保有する北海道伊達市長和町の販売用不動産について売買契約が締結されたことにより、不動産事業収入として404百万円を計上したことから、前回発表予想を上回る結果となりました。

一方、損益面につきましては、主として暗号資産の評価損を含む営業外費用を計上したことにより、経常利益および当期純利益は前回発表予想を下回る結果となりました。なお、暗号資産に係る評価損は期末時点の市場価格に基づく会計上の評価によるものであり、当社の現金収支に直接的な影響を及ぼすものではありません。営業外費用の詳細につきましては、「I. 営業外費用の計上」に記載のとおりであります。

以上